

# とちぎ市議会だより

第41号 (6月定例会)

2019.8.20

## 夢と希望と元気が いっぱい!

### 特集

- 新たな副議長が決定 ..... 2
- 政務活動費の収支状況を公開 ..... 14
- 他市から視察を受け入れました ..... 15

- 工事金額を減額 ..... 4  
(6月定例会で決まったこと)
- 16名の議員が市政を質す ..... 6~13  
(一般質問)
- 表紙写真の説明 ..... 3



# 議会人事

## 副議長に千葉議員

定例会初日、副議長の選挙が行われました。本市議会では、選挙の実施にあたり、就任を希望する議員による所信表明会を開催しています。所信表明会では、2名の議員が登壇し、議会運営に係る所信や抱負を述べ、投票する議員の参考といたしました。



千葉 正弘 副議長

**副議長としての抱負をお聞かせください**

副議長選で述べさせていただいた内容の実現にまい進するのみです。具体的には、①議会改革を進めると同時に、「議会力・議員力の向上」を図る。②議会と執行部との意思疎通を向上させる。が主な内容です。

**前述の内容を進めるにあたり、具体策はありますか**

議員が様々なテーマについて議論・検討を進め、「議会力・議員力の向上」を図る目的で新設した

「市議会情報交換会」に大いに賛同し期待しているところです。

また、執行部との意思疎通については、情報の共有化を向上させるため、議員研究会のあり方を発展させ、議会側の呼びかけによる研究会を行い、課題の認識を深めることが大切であると考えています。

**現在の議会をどのように見えていますか**

この一年間、様々な課題に翻弄されてきた感は否めませんが、議会の権能を発揮しているという声もあります。議論を尽くすことは、議会のチェック機能を果たすことであり、市民の声を市政に反映し、結果として本市の発展に寄与するものと考えます。

### 副議長選挙に向けた所信表明会

- ・議長をサポートし、これまで以上にスムーズな議会運営を果たしたい
- ・議会改革に積極的に取り組んでいきたい
- ・議会と市長等を含む執行部との意思疎通をさらに発展・向上させたい



はじめに登壇した千葉議員



次に登壇した針谷正夫議員

- ・議員、議会の能力を高め、執行部と切磋琢磨しながら、安心して生活ができる豊かな栃木市を築く一助になりたい
- ・二代表制の一翼を担う議員であることを自覚し、さらなる議会の活性化を図り、市民の負託に応えられる議会運営実現のため、議長を補佐していきたい

### 副議長選挙



議長を含めた29名が投票



厳正なる開票の結果



千葉議員が19票を獲得し当選しました

## 5月臨時会が開催される

本年10月からの消費税引き上げの影響を緩和することなどを目的に、国の財政支援を受け、低所得者や子育て世帯向けのプレミアム付商品券の発行等を行うための、補正予算を編成するため、臨時会が開催されました。

これを受けて、県内他市町の実施状況や対象者数等について質疑が行われた後、討論なく、全会一致で可決いたしました。

## 補正予算案を全会一致で可決



補正予算案などの提案理由を説明する大川市長

## ▶ 請願・陳情の提出者から意見を聴く場を設けました（意見陳述）

### 6月定例会での審議に先立ち、所管の常任委員研究会で審査いたしました

#### ● 栃木市民読書の日の制定に関する請願書

【概要】 幼少期より読書の機会に目を向けさせ、習慣化を図ることを目的として、山本有三先生の生誕日である7月27日を栃木市民読書の日として制定いただきたい。



産業教育常任委員からは読書の日を山本有三先生の生誕日にする理由などの質問が行われました

#### ● 介護福祉職員処遇を当面4万円引き上げる助成制度の新設を求める意見書の提出を要請する陳情書

【概要】 2025年介護福祉職員100万人不足に備え、「全産業平均賃金差額9万円」に近づけることを目指し、当面介護福祉職員処遇を4万円引き上げる助成制度の新設を国に求めている。



陳情提出者から意見を聴く民生常任委員



### 表紙の写真

## 夢と希望と元気がいっぱい!

新学期は夢や希望が膨らみながらも、不安の中での生活が始まりました。子どもたちも新しい生活に慣れて、笑顔で元気いっぱいの毎日を送れるようになりました。たくさんのお友達もできて、何もかもが新発見ですね。子どもたちの笑顔を絶やさぬように、未来に向けて、改めて議会運営に励んでいきたいと思えます。

(表紙担当：大浦委員、撮影地：二杉幼稚園)





# 6月定例会で決まったこと (主な議案等)

6月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。  
各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。  
下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



**工事金額を減額**

議案第64号  
工事請負契約の変更

**可決** 全会一致

### 議案の概要

平成30年第1回栃木市議会定例会において、議案第55号として議決を経た(仮称)地域交流センター整備機械設備工事請負契約(日向野・安藤特定建設工事共同企業体)の金額を一部変更する。

### 【変更の概要】

- ・変更前契約金額 196,884,000円
- ・変更後契約金額 195,210,000円



### 質疑

**質** 使用者への影響は

**答** 当初の設計では、壁に大便器を取り付けるタイプを予定していたが、女子トイレの数を多めに設定したため、既製品の大便秘器を設置する幅が足りなくなり、全ての大便器において床から立ち上がっているタイプに変更した。このことにより工事費用が約500万円の減額となった。荷物等を置く棚を別途壁に設けるので、工事変更により使用者に不便が生じることはないと考えている。

## 消防ポンプ自動車の購入

議案第65号  
財産の取得

**可決** 賛成 26  
反対 2

### 議案の概要

栃木市消防団に配備中の消防ポンプ自動車2台が老朽化したため、消防ポンプ自動車2台を購入する。

- ① 取得の方法 事前審査型条件付き一般競争入札(※)
- ② 取得予定価格 4576万円
- ③ 取得相手 合資会社渡辺商店

### 質疑

**質** 昨年度に購入した消防ポンプ自動車に比べ、取得価格が高い要因は

**答** 昨年度購入した消防ポンプ自動車は5トン未満の車両であるが、今回購入する消防ポンプ自動車は、車種、構造、艤装など種類が以前のものとは異なり、3・5トン未満の車両を取得するものである。3・5トン未満の車両については、国内で製造できるメーカーが少ないため、価格

競争が働きづらい部分に影響していると思われる。

**質** 今後更新していく車両は

**答** 普通免許で乗車可能な3・5トン未満の車両を購入していきたい。

**質** 入札に参加するための条件は

**答** 本件の入札に参加できる者は、物品購入等入札参加者名簿に登録を受けている者、地方自治法等に規定されている契約を締結する能力がある者、また、消防車両販売に登録のある者、過去10年以内に消防ポンプ自動車の新車納入実績がある者などが主なものである。

### 用語解説

(※)事前審査型条件付き一般競争入札 予定価格2000万円以上の物品購入などが対象となり、一定の条件をクリアした業者のみが参加できます。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために討論を行った議員名と議案名は次のとおりです。

議案第65号  
財産の取得について

反対討論  
(川上均 議員)

消防ポンプ自動車2台は、98.73%の極めて高い落札率で落札されたものである。

入札参加も3者であり、3回連続で県内の業者が落札した。最初から結果が決まっていた感がある。また、いままでの同型車より1台500万円以上高い。

今後、3.5トン未満の消防ポンプ自動車のメーカーが1社の独占状態が続くのであれば、他自治体の入札状況なども視野に入れ、ほぼ99%の落札率などといった事態がないようにすることを要望する。

賛成討論  
(小堀良江 議員)

今回の入札手続については、地方自治法など関係法令に基づき適正に執行され、3者の応札があり、競争性も保たれている。落札額も予定価格内であることから、本契約の締結は妥当なものと考えている。

さらに、今回の契約の相手方である合資会社渡辺商店については、本市を含め、県内の自治体や消防本部に多くの消防ポンプ自動車を納入した実績を持つ企業であると聞いている。

従って、本議案に係る消防ポンプ自動車の購入に関しては、適正なもの認められると判断し、賛成する。

緊急質問が  
実施される

・ 栃木市農業委員会事務局の  
政治的行為について

質問の概要

令和元年6月21日に新聞報道された栃木市農業委員会事務局職員の対応について、議員全員協議会で担当局より説明があり、その翌日の本会議最終日において、白石議員、内海議員、針谷育造議員から担当部局に対して、地方公務員法に抵触するかの確認や、今後の対応についての緊急質問が行われました。

担当部局からは「臨時職員は地方公務員法の適用がないと誤認していた」、「職員の処分については分限懲戒等審査委員会で審査していく」などの答弁がありました。

【緊急質問とは】

災害の発生や執行部の責任問題、そのほか客観的に事態が差し迫って即刻臨機の措置をとる必要があるときに、議会の同意を得て実施することができるものです。

議案等の審議結果

6月定例会では、議案45件、請願1件、陳情1件が審議され、その内、全会一致は45件、賛否が分かれた議案等は2件でした。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

○=賛成、●=反対

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	25	26	27	28	29	30
			森戸 雅孝	小平 啓佑	浅野 貴之	川上 均	大浦 兼政	古沢 ちい子	大谷 好一	坂東 一敏	青木 一男	茂呂 健市	内海まさかず	小久保かおる	針谷 育造	氏家 晃	入野 登志子	千葉 正弘	白石 幹男	永田 武志	福富 善明	広瀬 義明	関口 孫一郎	針谷 正夫	大阿久 岩人	松本 喜一	小堀 良江	梅澤 米満	福田 裕司	中島 克訓	天谷 浩明
議案第65号	財産の取得について	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	栃木市民読書の日の制定に関する請願書	不採択	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



小久保かおる 議員  
公明党議員会

**健康マイレージ事業が開始され  
1年になるが、昨年の取り組み実績は**

20歳以上の方が対象となる「けんしんパスポート」が、各世帯に届いたと思う。

このけんしんパスポートの中には、市民の皆様が健康診断を受診したり、健康づくりやボランティア活動に参加したりすることを目的とした健康マイレージ事業の案内が掲載されている。

そこで、この事業が開始されてから1年が経過したが、昨年度の取り組み実績について伺う。

**答弁** 藤田保健福祉部長

**目標値の達成に向け、さらなる  
受診啓発が必要と考えている**

健康マイレージ事業の実績は、男性265人、女性403人、合計668人の方に参加いただいた。

- 健康増進の取り組み
- 学校や公園等の安心・安全な管理体制
- 読書環境の向上

また、特定健診やがん検診の受診傾向については、健康診査等の受診割合において、58・4%と微減となっており、目標値の70%達成に向け、さらなる受診啓発が必要と考えている。

一方、がん検診の受診状況については、それぞれのがん検診でわずかな伸びが見られるが、今後、さらに受診勧奨に努めたいと思う。

今年度は、県においても、スマートフォンにアプリをダウンロードし、歩いたためのポイントで「とちぎの特産品」が当たる「とちまる健康ポイント事業」を開始したため、当事業への参加を選択事業に追加し、参加者の拡充を図っていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 育造 議員  
創志会

**恒久的財源を確保し、  
学校給食無料化に再挑戦するのか**

市長は4月17日の議員全員協議会で、「風通しの良い、何でも話せる職場を作ること」を議会に表明した。

また、「財源を確保できるように最大限努力し、新年度予算の計上を目指したい」と、給食無料化に再挑戦することが新聞で報道された。議会に対して事前に協議していただきたかったところではあるが、恒久的財源確保の見通しと、今後、どのように取り組むのかを伺う。

**答弁** 大川市長

**実施方法等を検討し、  
最大限の努力をしていく**

学校給食の無料化については、私のマニフェストに掲げた公約で

- 会計年度任用制度の確立
- 学校給食無料化
- 栃木シティフットボールクラブ専用スタジアム等の整備

あること、また、子育て世代の方々からは、教育費などの経済的負担の軽減を求める声を多くいただいております。無料化を望んでいる市民がいることから、今年度も関係課によるプロジェクトチームにおいて、実施方法等を検討し、議会にも経過を報告しながら、実施に向けて、最大限の努力をしていく。

なお、学校給食の無料化を継続して実施していくには、歳入と歳出のバランスのとれた市全体の予算案において、学校給食の無料化に係る予算を位置づけることが必要であり、施策の重要性や財政的な裏付けを議員の皆様や市民の皆様にご理解いただくことが重要であると考えている。







入野登志子 議員  
公明党議員会

市長の公約の中にある  
都市計画税の見直しは

都市計画税は、都市計画事業等の貴重な財源として位置付けられている。本市において平成29年度の収入は、7億4000万円である。

近年、廃止または、市民税や固定資産税を引き上げて税収を確保するなどの手法で、都市計画税の見直しをする自治体がでてきている。不公平さをなくすための見直しの検討は、どのような方向で行っていくのか、伺う。

答弁 榎本財務部長

理解をいただける税のあり方について、調査・研究をしていく

都市計画事業は多くの時間を要するとともに、費用対効果や、財政状況などを勘案しながら、計画

- 都市計画税の見直し
- ふれあいトーク
- 投票率アップに向けた取り組みの現状と課題

的に実施していくことになる。

当面の間は、都市計画税の目的や使途などを市民の皆様の説明し、理解いただけるよう努力していく。

なお、将来的な都市計画税のあり方については、他の財源を確保しつつ見直しを行っている自治体もあることから、そのような取り組みを参考に、より市民の皆様へ理解をいただける税のあり方について調査・研究をしていく。



市民からより理解を得られるような税制度の在り方

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



古沢ちい子 議員  
公明党議員会

時代にあった母子手帳の発行を

母子健康手帳を発行しているが、現代では「スマホに母子手帳を」との希望が多く、『電子母子手帳』を導入する自治体が増えてきている。

東日本大震災の際には、津波で母子手帳そのものが流されてしまうこともあり、パソコンやスマホで活用できる電子化の動きが加速している。

成長記録や情報発信を豊富にする栃木市電子母子手帳の発行ができると思うが、執行部の見解を伺う。

答弁 藤田保健福祉部長

次年度の導入に向けて準備を進めていく

電子母子手帳は、妊娠期から子育て期における情報や記録を、電

- 子育て支援
- 住みやすい街を目指す取り組み
- 共生型社会づくり
- 公営納骨堂の整備状況

子データとしてスマートフォンやタブレットで管理・利用できるアプリケーションで、現在、民間企業が開発したものがあ

提案いただいた電子母子手帳機能を用意した『とち介予防接種ナビ』の充実については、現在のサイトが『予防接種スケジュール管理サイト』として、多くの方にご利用いただいていることから、電子母子手帳アプリと併用して提供するか、またはそれぞれ単独で提供するか、今後、システム会社と協議しながら、次年度の導入に向けて準備を進めていく。





内海まさかず 議員  
創志会

**株観光農園いわふねの  
経営責任を追及すべき**

架空の助成金話に引っ掛かり、無理な設備投資を行い、資金がなくなれば、私たちの税金で穴埋めするという状況を作った元社長には経営責任がある。赤字を出した企業を税金で救済することはない。

赤字体質の観光農園の経営を引き継いだ元社長は気の毒ではあるが、栃木市は筆頭株主として元社長に損害賠償請求を行うべきではないか。

**答弁** 大川市長

**株主として損害賠償請求は難しい**

株観光農園いわふねの経営状況は、平成28年度当初から厳しいことが推測されていた。

このようなかで、同年7月、当

- 入札格付け変更問題
- 市職員の障がい者雇用
- 株観光農園いわふね問題
- 県南広域的水道計画

時の社長から市に対し、一般社団法人の助成事業を導入する意向が伝えられ、9月には交付決定通知を受領したことについて報告を受けた。

市は、その都度、慎重な対応と、事業の確実性について注意喚起を行うと共に、事業実施にあたっては、助成金の入金が確実になつてから事業展開をするよう助言してきた。株観光農園いわふねとしては、助成事業として設備投資を実施したことから、借入金等の負債が増加し、結果的に資金繰りの悪化を招くこととなった。

しかしながら、実施された事業は会社経営の立て直しを図ることを意図としており、イチゴやトマトの栽培施設など、資産として会社で所有・使用することで、収益改善に有効活用している現状がある。

このことから、株観光農園いわふねとして、また、株主として賠償請求は難しいと考えている。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



広瀬 義明 議員  
無党派

**公用車事故撲滅は安全運転意識の  
醸成と対策で成る**

公用車の事故は、毎年30件前後発生しており、減少する気配は感じられない。

市職員による公用車事故では、故意または重大な過失がない限り、損害賠償共済により職員個人の金銭負担は生じない。

市職員は、責任を持つて公用車を使用し、市民に対して模範となるような安全運転に努めるべきである。

そのためには、公用車事故「0」を掲げ、様々な対策を展開し、組織を挙げて真摯に取り組む必要があると考えるが、執行部の考えを伺う。

**答弁** 榎本財務部長

**思いやりのある運転の徹底で、  
事故の減少を目指す**

市では公用車事故の撲滅を目指す

**●公用車の事故と事故防止対策**

し、職員課所管の交通安全教室と、管財課所管の安全運転教室を実施している。

また、事故発生時には庁内二ユーで事故の概要について速報を流し、職員への注意喚起を行い、各課の朝礼では、課長から交通事故に注意するよう指導を行っている。

しかし、残念ながら十分な改善が図られていない状況にある。

今後は、運転記録証明書の活用や、アルコールチェッカーの導入、また対象者を絞り込んだ講習会の実施等、新たな事故防止対策を取り入れたい。

なお、本県における信号機のな横断歩道での車の一時停止率の改善に向けた取り組み「止まらな栃木脱却キャンペーン」に市職員が率先して取り組むこととし、交通ルールやマナーを守り、周囲に配慮した思いやりのある運転を徹底することで、公用車事故の減少につなげていく。





福田 裕司 議員  
創志会

### 6年目となる観光基本計画の進捗状況は

人口減少や少子高齢化が進む中、財源の確保や社会保障の維持などの課題対応のため、本市では、観光による成長戦略を目的とした「栃木市観光基本計画」が作成されている。この計画期間は9年間に設定されており、今年度は6年目となる。これまでの取組状況とその成果について検証するとともに、具体的目標値に対する達成状況について伺う。

【答弁】 福原産業振興部長

### 観光客の入り込み数、目標に著実に近づいている

有識者で構成する「栃木市観光まちづくり推進連絡会議」の評価では、短期アクションについては概ね取り組んでいるものの、密着に合わせたモデル

- 栃木市観光基本計画の進捗状況と検証
- 統一地方選挙の投票率及び当日の投票時間短縮の成果
- 市営墓地・墓園の整備
- 本市における「高齢者ドライバー」の実態と今後の対応

ルートの開発等について改善が必要とのことであった。これらの評価を踏まえ、さらなる事業の充実や情報発信に努めているところである。

また、中・長期アクションについても、一部未着手のものを本推進連絡会議において、より効果的な方法を検討し、着手していく。

これまでの成果としては、観光資源の磨き上げや観光周遊モデルルートづくり、各機関への情報提供等により、平成30年の観光客の入り込み数が600万人を超え、目標である650万人に著実に近づいている。

今後も、本市を取り巻く観光動向や社会情勢、及びニーズの変化等に柔軟に対応し、本計画を推進していく。



栃木市観光基本計画

## 一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



松本 喜一 議員  
栃木未来

### 市街化調整区域の小中学校周辺1km以内の開発について

本市では、市街化調整区域内の大規模開発を6年前から抑制している。

市街化調整区域内の大規模開発は、固定資産税の増収増や、新たな道路整備などの経済効果をもたらす、本市にとって好影響であると思われる。

市街化調整区域内の大規模開発の復活や、調整区域内の小中学校周辺1km以内の地域に限定した開発を認めることで、本市の児童生徒の増加や生活道路の整備につながると思うが、市の考えを伺う。

【答弁】 戸田都市整備部長

### 大規模開発の復活は難しいが、学校周辺開発については検討していく

本市は、人口減少の歯止めとし

- 人口増加対策
- 教育環境等整備

て、中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティ実現のための施策に現在取り組んでいる。

大規模開発を認めていた期間では、少なからず経済効果もあつたと考えられるが、結果として約7割が市街化区域からの人口流出であつたことから、まちなかの空洞化を招く一因ともなり、市街化調整区域内の大規模開発の復活は、難しいものと考ええる。

小中学校周辺の開発については、児童生徒の増加や、生活道路の整備につながることから、良好な居住環境の維持・形成を図ることができると期待している。

そのため、昨年3月に策定した「市街化調整区域における地区計画制度活用方針」について、小中学校周辺においても一定のルールのもと、宅地分譲開発が可能となるよう、引き続き検討していく。



大浦 兼政 議員  
栃木政策研究会

商工会議所や商工会等と連携した  
キャッシュレス化の推進を

秩父地域で行われている公民連携推進事業では、QRコード決済を活用したキャッシュレス化実証実験を進めている。各店舗での導入に加え、観光施設や地元鉄道会社のフリー乗車券、長瀬ライン下りなどの体験観光で利用を可能にし、地域観光振興や訪日観光客誘致に力を入れている。

答弁 福原産業振興部長

経済団体と連携した取り組みを  
協議していく

国では消費税増税後の9カ月間、キャッシュレス支払いをした消費者へのポイント還元、中小企

- 栃木市のキャッシュレス化の推進
- 旧栃木警察署跡地のその後

業・小規模事業者に対して、決済端末導入費用や加盟店手数料の補助を行う。

商工会議所や商工会などの経済団体においては、事業者に対して国の制度を活用していただくよう、ホームページや会報でキャッシュレス決済導入に向けた情報発信や、商店会連合会に対し導入に向けたセミナーの開催に取り組んでいる。

このような取り組みは市としても、キャッシュレス決済導入の良い契機と捉え、国・県等の情報収集に努めるとともに、事業者への効果的な情報発信やセミナー等の共同開催など、経済団体と連携した取り組みを協議していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



川上 均 議員  
日本共産党栃木市議団

消費税10%への増税は市民生活と  
地域経済に打撃、市の対応は

10月からの消費税増税に対し、市民生活や商売への不安が高まり、「増税して大丈夫か。」との声が増えてきている。消費税10%は中止するべきである。

増税の場合、複数税率とインボイス制の実施で、小規模事業者の経営に重大な影響を及ぼす。その内容は、「税負担増で経営にマイナス」、「複数税率で実務負担の増大」、「インボイス制が小規模事業者への打撃となる」などである。市内小規模事業者への影響をどのように予測し、対応するのか伺う。

答弁 福原産業振興部長

広報紙等において事業の周知や、  
早期対応への啓発をしていく

増税に伴う対応としては、中小

- 消費税10%への増税にともなう地域経済への影響
- 10月からの幼児教育・保育無償化の問題点
- 消費税10%への増税に対する市の対応

企業庁では、複数税率対応レジの導入等経費の一部を補助する軽減税率対策補助金による支援を行っている。

また、栃木税務署では、軽減税率制度説明会の開催、商工会議所や商工会では、セミナーや会報を通して制度の周知と理解に努めている。

市では、広報紙等において、事業周知や早期対応への啓発、国の補助金活用案内のPRを行っている。

消費税の引き上げによる小規模事業者への影響は、対応が効果的に機能すれば、買い控え等による反動はあるものの、経営が大きく悪化することなどの影響は少ないと思われる。

領収書	
2019年10月1日	11時30分
ビール	560円
特製豚汁 ※	300円
蕎麦/内弁当 ※	450円
合計	1,310円
	(内消費税 105円)
お預かり金	1,500円
おつり	190円
	(10%対象 560円)
	(8%対象 750円)
(有)〇〇屋	

複数税率で領収書も複雑に





白石 幹男 議員  
日本共産党栃木市議団

学校給食費の無料化の意義を  
強いメッセージで発信を

学校給食費の無料化は、市長公約の二丁目一番地だが、何としても実現するという市長の思いが伝わってこない。無料化に否定的な意見があるなかで、「子どもは社会全体で育てる」、「義務教育は無償」、「給食は教育の一環」という観点で、市民に対し、無料化の意義を理解してもらう努力が必要だ。「今、なぜ無料化なのか。」という市長の強い思いを市民に対して発信するべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 大川市長

地域社会全体で子どもを育てる意義を理解いただけるよう努力していく

学校給食費の無料化の意義につ

- 子どもの遊び場整備事業
- 学校給食費の無料化への取り組み
- 危険ブロック塀改修への対応

いては、子育て世代の経済的負担の軽減に努めることで、出生率の向上や若者世代の定住が図られるものであるとともに、地域社会全体で子育て支援を行うことで、支援する側と支援される側が相互に慈しみあう心の醸成につながるこ

また、無料化の取り組みを契機として、改めて子どもたちにも、教育の現場において、働くことの大切さや、食事や食材のありがたさを学習するなど、成長期にある子どもたちへの食育・徳育につながるものと考えている。地域社会全体で子どもを育てるという意義を、市民の皆様にご理解いただけるよう、今後も努力していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



森戸 雅孝 議員  
栃木政策研究会

私たちの未来を担う子どもたちの  
育成に向けた教育を

ここ数年、教育現場にもSDGSの取り組みが広がりつつある。東京都江東区内の小学校では、総合学習や社会科の授業でSDGSを取り上げ、6年間で全17目標にちなんだテーマを学んでいる。

私たちのまちの未来を担う子どもたちの成長を皆で支え、地域の課題解決や活性化に貢献し、持続可能なまちづくりを進めていく人材を育成する取り組みが必要と考えるが、SDGSの取り組みを小中学校の授業に取り入れる考えについて伺う。

答弁 青木教育長

持続可能な社会の創り手となる  
人材の育成を目指していく

教育委員会としても、SDGSの

- 持続可能な開発目標(SDGs)
- 栃木市伝統的建造物群保存地区と例幣使街道の一体化したまちづくり

趣旨に賛同し、ゴールに迫るための人材育成の必要性を感じている。昨年10月には、日本ユニセフ協会から中学3年生を対象に「わたしたちがつくる持続可能な世界」SDGSをナビにして」が配付されており、それを参考にしながら様々な教科等で取り組んでいるところである。

新たな学習指導要領においても、持続可能な社会の創り手の育成が掲げられ、各教科等においても関連する内容が盛り込まれている。まずは、学習指導要領の趣旨やねらいに迫る教育を展開することを通し、持続可能な社会の創り手となる人材の育成を目指していきたい。

用語解説

持続可能な開発目標(SDGs)とは  
2015年9月の国連サミットにおいて採択された2030年を年限とする国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。



小平 啓佑 議員  
栃木政策研究会

若者の結婚の希望をかなえる  
事業にサポートを

「栃木市まち・ひと・しごと総合戦略」では、令和元年度末の合計特殊出生率目標を1・43にしているが、本市は県内でも出生率が低い状況である。

市として専門の課や係を設置し、民間の婚活事業者や団体とのすみわけや協力をしながら、市民の結婚の希望をかなえる事業内容及び支援体制について、執行部の意見を伺う。

答弁 小保方総合政策部長

専門部署の必要性も含めて、  
研究していく

今年度以降の本市婚活イベント等の取り組みについては、民間団体等による婚活イベントの開催が活発化することが望ましいと考え

○ 栃木市の奨学金制度  
● 結婚の希望をかなえる事業

ており、市が直接イベントを開催するのではなく、こうした団体の支援を通じ、結婚支援を行っていきたく考えている。そのため、平成30年度の婚活イベント実施支援事業では、市内の結婚支援・婚活イベント主催団体等を対象に、全国の先進事例の紹介や婚活イベント成功のヒントを紹介するなど、関係者のスキルアップを図るためのセミナーも実施した。

今後の取り組みについては、市民の皆様や企業・団体の皆様の主体的な取り組みを尊重しつつ、市としてどのような支援が必要なのか、専門部署の必要性も含めて研究していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



浅野 貴之 議員  
誠心

子どもたちの虫歯「0」を目指して

虫歯の予防にはフッ化物塗布が有効とされており、本市においても歯と口の健康週間において行われている。

しかし、参加者数が減少傾向にあるなど課題も見られるが、本市の学校や社会におけるフッ化物塗布事業の現状と、今後の方向性について伺う。

答弁 藤田保健福祉部長

関係課と連携し、  
多くの小学校に広げていきたい

現在、フッ化物を利用した予防事業として、2歳児歯科健診におけるフッ化物ジェル塗布体験、年長児と小学1年生対象のフッ化物塗布事業、市内6つの小学校の児童に実施しているフッ化物洗口事業がある。

○ がん教育の推進  
● 歯の健康を守る取り組み  
○ スポーツと文化芸術で心豊かに

小学校におけるフッ化物洗口事業は、児童が学校生活の中で実施することから長期間の継続が確実となるため、虫歯予防に有効な手段であると認識しているため、関係課と連携し、多くの小学校に広げていきたいと考えている。

また、歯磨きとともに、フッ化物塗布等が虫歯予防に効果があることを市民に広く周知していくことも必要であるので、健康まつりや健診、健康教室等、あらゆる機会を通じて、チラシ等による普及・啓発を行っていく。







大谷 好一 議員  
誠 心

小学生のバス利用の無料化について、積極的に検討を

自宅と小学校が遠く離れている小学生たちに、積極的にバスを利用してもらうことで、他のバス利用者との交流を深めることができるとともに、バスの利用率の向上も図られるものと思われる。

小学生のバス利用の無料化について、これこそが子育て支援に繋がると考えるが、積極的に検討いただけるのか、執行部の考えを伺う。

答弁 橘生活環境部長

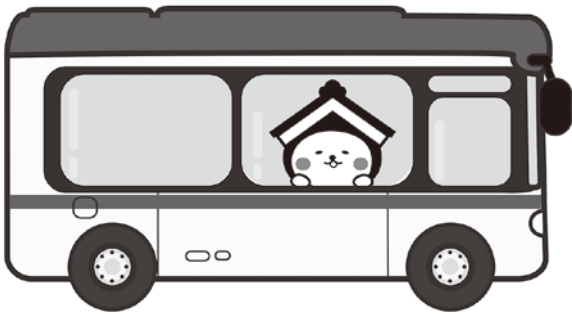
関係機関と協議の上、実施を検討していく

小学生のふれあいバス利用の無料化については、小学生の頃からバス利用に慣れることで、将来、高校生・社会人となったときのバ

- ふれあいバスの利活用
- 交通安全対策
- 市長公約の実現

スの利用率向上にも繋がると考えられる。

このようなことから、平成30年10月に策定した「栃木市地域公共交通網形成計画」の中で、取り組み施策の一つとして位置づけており、今後はこの計画に基づき、関係機関と協議の上、小学生運賃の無料化に向けて実施を検討していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



坂東 一敏 議員  
誠 心

トイレの汚れをはじめとした運動公園内の清掃について改善を

総合運動公園内のトイレの汚れや、悪臭が非常に気になった。利用者にとっても、決して快適な状態ではないと思われるが、改善要望は出ていないのか。多くの市民の憩いの場であり、市外からも多くの人が訪れる運動公園であるので、適切な維持管理が必要である

と考えるが、トイレをはじめ、園内の清掃などは、どの程度の頻度で行っているのか伺う。

答弁 國保建設部長

効果的・効率的な施設改修を進めている

硬式野球場のトイレについては、臭い等の影響により、利用者から改善等の要望をいただいている。

- 市職員の市民への対応
- 栃木市総合運動公園の整備

トイレの臭い等の主な原因としては、トイレの浄化槽や排水施設など、公園施設全体の老朽化によるものと考えられるので、平成29年度に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき、国の交付金を導入しながら、効果的・効率的な施設改修を進めている。

また、公園内の清掃については、トイレを含め、一施設あたり週2回から3回行っており、さらにトイレについては、清掃以外に毎日見回りを実施し、その際に汚れがひどい箇所があった場合には、随時清掃を行っている。

今後とも快適に公園を利用いただくために、適切な管理運営に努めていく。



# 支出の透明化を図れるよう

# 昨年度の収支状況を報告します

# 政務活動費

政務活動費の使途の透明性・公開度を高めるため、「政務活動費収支報告書等の閲覧に関する実施要領」に基づき、収支報告書等の書類を、情報公開条例による手続きを経ることなく、誰でも議会事務局で閲覧することができるよ。



## 平成30年度政務活動費交付金収支状況(平成30年5月～平成31年3月)

※会派議員数は平成31年3月末現在、( )内数字は再掲  
 ※政務活動費の基準日は各月の初日 (単位:円)

会派名	日本共産党 栃木市議団	公明党議員会	弘毅会	創志会	誠心	栃木未来	栃木政策研究会 (5月～12月)	栃木政策研究会 (1月～3月)	明政	無会派 小平啓佑 (5月～12月)	計	
議員数(名)	2	3	4	5	4	4	(4)	4	3	(1)	29	
議員数変更時期等	—	—	—	—	—	—	12月19日 1名辞職	12月19日 1名加入	3月14日 1名離脱	—		
交付上限額	660,000	990,000	1,320,000	1,650,000	1,320,000	1,320,000	960,000	360,000	990,000	240,000	9,810,000	
交付決定額	411,627	483,257	545,044	730,833	281,253	721,410	620,205	37,312	700,102	167,402	4,698,445	
支出 内 訳	1 研究研修費	103,030	227,101	193,448	294,488	74,397	313,618	326,988	0	386,337	97,417	2,016,824
	2 調査旅費	0	121,206	198,340	124,226	121,206	260,908	195,681	0	112,290	65,227	1,199,084
	3 資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 資料購入費	253,660	88,179	103,882	196,394	33,700	75,100	62,838	21,420	78,964	0	914,137
	5 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 その他の経費	54,937	46,771	49,374	115,725	51,950	71,784	34,698	15,892	122,511	4,758	568,400
執行率	0.624	0.488	0.413	0.443	0.213	0.547	0.646	0.104	0.707	0.698	0.479	

交付上限額 月額3万円×11ヶ月×29人 9,570,000円

交付上限額 月額3万円×8ヶ月×1人 240,000円

平成30年度政務活動費交付上限額計 9,810,000円 (A)

平成30年度政務活動費交付決定額 4,698,445円 (B)

執行率 47.9% (B/A)



## ▶ 2018年度 議会改革度ランキングで全国53位に

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年実施している調査で、本市議会のランキングが2017年度の153位より大幅に順位を上げ、全国の都道府県及び市区町村1447議会の中で53位、栃木県及び県内の市町議会の中で2位の好成績を取めました。これは今までの議会改革の取り組みに加え、政務活動費の後払い方式や領収書のネット公開が大きく影響しているものと考えられます。今後も市民の皆様の負託にこたえるべく、さらなる改革に取り組んでまいります。

### 【全国のランキング上位とその内容】

- ・1位【北海道芽室町議会】：多様な世代の住民参加の促進を掲げ、地域の社会教育を進める「未来フォーラム」を開催
- ・2位【滋賀県大津市議会】：外部知見の導入による政策立案機能の強化と、実行計画「ミッションロードマップ」の推進
- ・3位【三重県四日市市議会】：常任委員会年間白書を取りまとめ、課題・懸案事項を明確化し、住民と共有

#### ○議会改革度ランキングとは

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所が議会の情報共有や住民参加、機能強化の取り組みを点数化し、都道府県や市区町村を含めた議会改革度ランキングを毎年公表している。

## ▶ 平成30年度 視察受け入れ結果一覧

本市議会では、議会運営や各種行政施策について、他の自治体から視察の受け入れを行っています。平成30年度は、全国32自治体の議員の方々、本市議会で行っている議会改革や本市の優れた施策について、視察されました。

〔議会改革などのテーマで来局した市議会〕

期 日	自治体名	人 員	視 察 項 目
4月19日(木)	石川県加賀市	8人	政務活動費の後払いについて
6月28日(木)	栃木県佐野市	23人	政務活動費の後払いについて
7月20日(金)	茨城県古河市	8人	タブレット端末導入について
9月27日(木)	愛知県豊田市	11人	タブレット端末の導入について
11月 2日(金)	宮城県大崎市	8人	議会広報について
11月 6日(火)	長崎県大村市	9人	新庁舎における議会棟の整備について 議会改革の取り組みについて
11月 7日(水)	千葉県山武市	7人	議会基本条例及び政治倫理条例について
11月 8日(木)	茨城県行方市	5人	議会の広報活動について
2月 6日(水)	秋田県横手市	6人	タブレット端末の有効活用について

上記以外に本市が行っている各種施策（「空き家対策、移住・定住」や「新たな地域自治制度」など）については、各担当課に説明をしていただきました。

今後も全国の自治体から視察先として選ばれるよう、引き続き議会改革に取り組んでまいります。



## モニターインタビュー (No.13)

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。(今回のインタビュアー：大浦委員)



議会広報紙モニター 川田 健太郎 さん

**Q: 川田さんは地元で自営業を営んでいらっしゃいますが、何か地域活動等はされていますか**

A: 子どもたちの笑顔が見たいので、PTAや大平商工会での活動を中心に、大平地域で開催する「とちぎ盆まつり」、そして「蔵の街花火大会」などの実行委員をしています。

**Q: そのような活動の中で、どのような栃木市になってほしいと考えていますか**

A: 各地域に住んでいるみんなと、一丸となって協力し合える、明るく楽しい栃木市になってほしいです。

**Q: 明るい未来に向けて、栃木市や議会に要望はありますか**

A: 政治を分かりやすく、若い人が参画しやすい栃木市議会を作ってほしいと思います。市民に寄り添う議会、市民とつくる栃木市であってほしいです。

### 9月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30	31
					本会議 議案等提案	
1	2	3	4	5	6	7
		本会議 『一般質問』				
8	9	10	11	12	13	14
	常任委員会・決算特別委員会分科会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)					
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
			決算特別委員会 会派代表質疑 分科会長報告			
29	30	10/1	2	3	4	5
	本会議 議案等採決					

本年より決算特別委員会が設置される予定です。詳細につきましては次号にてお知らせいたします。

### 傍聴にお越しく下さい

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、8月29日(木)に新聞折り込みを予定しています。

ぜひ傍聴にお越しく下さい!

6月定例会の傍聴者は……延べ158人でした。

また、本年度も議会報告会の開催に向け、協議をしているところです。

なお、詳細は9月発行の『広報とちぎ』折り込みをご覧ください。

### 栃木市議会広報委員会

6月定例会初日に千葉副議長が新たに選出されました。さらに議会改革を前進させるべく、議長、副議長を中心に、議員全員で精進してまいりたいと思います。

また、最終日には10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、条例改正が追加提出されました。丁寧な手続きのもと、審議に付され、議決できたことに安堵いたしました。

議会だよりも市民の皆様の視点に立ち、「読みやすいね。」と言っていたため、たくさんの御意見を頂戴し、委員全員で検討を重ねてまいります。

(古沢ちい子記)

委員長  
副委員長  
委員

福富善明  
浅野貴之  
小平啓佑  
川上均  
大浦兼政  
古沢ちい子  
内海まさかず  
関口孫一郎  
梅澤米満  
鯉沼孝雄  
古澤悦夫

写真アドバイザー

古澤悦夫

議会だよりは目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。<TEL:0282-21-2505>